

ライセンスモデルポリシー

2019.10

本ポリシー（本書）は、UiPath とお客様（お客様）との間で適用される使用許諾契約（本契約）と合わせて読まれます。

本書において別途定義されていない限り、太字で記載されている用語は、本契約において定義されている意味を有します。

本製品は、個別に商品化されている場合であっても、相互に連携している場合や他の製品と関連性のあるライセンスモデルで提供される場合があります。参照の便宜のために、前述のライセンスモデルの類似性にかかわらず、ライセンス体系の説明は製品ごとに記載されます。本書に記載のライセンスモデルは網羅的ではなく、本製品の完全な一覧を反映しているものではありません。また、その他文書（マニュアルを含みますが、これらに限定されません。）において、追加のライセンス許諾又は禁止事項が記載されている場合があります。

本書に記載されている全てのライセンスの種類ついてライセンスキーが発行されるわけではありません。

定義

- **UiPath Studio (ST)** は、自動化ワークフローを設計及び改修するために使用されます。
- **UiPath Robot (R)** は、自動化ワークフローの実行に使用されます。
- **UiPath Attended Robot (AR)** は、ユーザーの監視下において、ユーザーの直接操作による自動化ワークフローの実行に使用されます。
- **UiPath Unattended Robot (UR)** は、ユーザーの監視下にない状態での、自動化ワークフローの実行に使用されます。
- **Non-Production Robot (NR)** は、開発、トレーニング、テスト及び評価のみを目的とする、自動化ワークフローの実行に使用されます。
- **UiPath Orchestrator (OC)** は、一連の UiPath Robot へのライセンス付与、配置、管理及び監視に使用されます。
- **UiPath Activities (UA)** は、UiPath が開発したか、取得可能な状態にしたか、又は公開した自動化プロジェクトのソフトウェア・テンプレートです。
- **UiPath Apps (APP)** は、OC でのプロセス実行中に作成され、ユーザーに割り当てられるワークアイテムです。
- **UiPath Connect Enterprise Hub (CEH)** は、候補となる業務の自動化の可能性を評価する目的で使用されます。
- **UiPath Explorer Expert (EEX)** は、ユーザーのインプットに基づく自動化ワークフローの設計に使用されます。
- **マシン**とは、物理的コンピューター又は仮想コンピューターをいいます。
- **デスクトップ**とは、ウィンドウ、メニュー及び機能等のユーザー・インターフェース・オブジェクトを含む、論理表示画面をいいます。
- **非本番環境**とは、本製品がインストールされ、開発、テスト、内部トレーニング及び評価のみを目的として使用される環境をいいます。
- **本番環境**とは、下記の特記事項において禁止される内容を除く、お客様の使用目的のために、本製品がインストールされ、使用される環境をいいます。

- **ランタイム**とは、マシンで同時に利用可能な UR の数に一致する、そのマシンの実行許容限度数をいいます。
- **ソフトウェア・インスタンス**とは、一人のユーザー又は一つのアプリケーションにより開始された、同一のデスクトップに対してアクセスしている、1つ以上の実行プロセスをいいます。
- **アップグレード・サポート・ライセンス**とは、本製品を上位のバージョンに並行アップグレード(移行)することを円滑にする目的のみに使用されるライセンスをいいます。アップグレード・サポート・ライセンスは、アップグレード期間中に限り本番環境での使用が認められます。
- **ユーザー**とは、本契約に従い本製品の使用が認められている各個人をいいます。

UiPath のホスティングサービスで提供している UiPath Cloud Platform に適用されるライセンスモデルは、<https://www.uipath.com/cloud-platform-licensing-models> を参照してください。

以下のライセンスモデルは本製品の最新バージョンに適用されます。従前のバージョンに適用されるライセンスモデルは、ライセンスモデル・アーカイブをご参照ください。UiPath のプロダクトライフサイクルに関する詳細情報については[こちらのリンク](#)をご参照ください。

本製品	ライセンスモデル	説明
UiPath Orchestrator (OC)	Server	ユーザーは1つの論理インスタンス上でOCライセンスを適用できます。ユーザーは常時OCにアクセスできます。
UiPath Studio (ST) with OC	Named User	お客様が指定した1ユーザーのみが、1つの有効なデスクトップセッション上のSTにアクセスできます。STは同一の指定されたユーザーが使用する複数のマシンにライセンスを付与することができ、OC又はスタンドアロンライセンス上のSTライセンスを使用してアクティベーションします。1つのSTライセンスは同時に1台のマシンでのみ使用が認められます。お客様はSTにアクセスする1ユーザーごとに1つのSTライセンスを取得する必要があります。
	Concurrent User	どのユーザーも、1つの有効なデスクトップセッション上のSTにアクセスできます。STは複数のマシンにライセンスを付与することができ、またOC上のSTライセンスを使用してアクティベーションが認められます。1つのSTライセンスは同時に二つ以上の有効なデスクトップセッションで使用できません。お客様はSTに同時にアクセスするユーザー数分のSTライセンスを取得する必要があります。
UiPath Studio(ST) without OC	Named User	お客様が指定した1ユーザーのみが、1つの有効なデスクトップセッション上のSTにアクセスできます。STは同一の指定されたユーザーが使用する複数のマシンにライセンスを付与することができ、スタンドアロンライセンスを使用してアクティベーションします。1つのライセンスは同時に1台のマシンでのみ使

		用が認められます。お客様は ST にアクセスする 1 ユーザーごとに 1 つの ST ライセンスを取得する必要があります。
	Node Locked	どのユーザーも、1 つの有効なデスクトップセッション上の ST にアクセスできますが、同時にアクセスできるのは、1 ユーザーのみです。ST はスタンドアロンライセンスを使用してアクティベーションします。ライセンスは 1 台のマシンでアクティベーションが認められます。お客様は、ST に同時にアクセスするユーザー数分の ST ライセンスを取得する必要があります。
UiPath Attended Robot (AR) With OC	Named User	お客様が指定した 1 ユーザーのみが、1 つの有効なデスクトップセッション上の AR にアクセスできます。AR は同一の指定されたユーザーが使用する複数のマシンにライセンスを付与することができます。1 つの AR ライセンスは同時に 1 台のマシンでのみアクティベーションが認められます。お客様は、AR にアクセスする 1 ユーザーごとに 1 つの AR ライセンスを取得する必要があります。
	Concurrent User	どのユーザーも、1 つの有効なデスクトップセッション上の AR にアクセスできます。AR は複数のマシンにライセンスを付与ことができ、また OC 上の AR ライセンスを使用してアクティベーションが認められます。1 つの AR ライセンスは同時に二つ以上の有効なデスクトップセッションで使用できません。お客様は AR に同時にアクセスするユーザー数分の AR ライセンスを取得する必要があります。
UiPath Attended Robot (AR) Without OC	Named User	お客様が指定した 1 ユーザーのみが、1 つの有効なデスクトップセッション上の AR にアクセスできます。AR は同一の指定されたユーザーが使用する複数のマシンにライセンスを付与ことができ、スタンドアロンライセンスを使用してアクティベーションします。1 つの AR ライセンスは同時に 1 台のマシンでのみアクティベーションが認められます。お客様は AR にアクセスする 1 ユーザーごとに 1 つの AR ライセンスを取得する必要があります。
	Node Locked	どのユーザーも、1 つの有効なデスクトップセッション上の AR にアクセスできますが、同時にアクセスできるのは、1 ユーザーのみです。AR はスタンドアロンライセンスを使用してアクティベーションします。ライセンスは 1 台のマシンでアクティベーションが認められます。お客様は、AR に同時にアクセスするユーザー数分の AR ライセンスを取得する必要があります。
UiPath Unattended Robot (UR) With OC	Concurrent Runtime	どのユーザーも、1 つの有効なデスクトップセッション上の UR にアクセスできます。1 つの UR ライセンスは同時に二つ以上のデスクトップセッションにアクセスすることが認められません。お客様は OC に同時に接続するマシンのランタイムの最大数分の UR ライセンスを取得する必要があります。

UiPath Unattended Robot (UR) Without OC	Node Locked	UR へのアクセスが可能であるユーザーの数に関わらず、一つのソフトウェア・インスタンスのみ、実行が認められます。UR はスタンドアロンライセンスを使用してアクティベーションします。ライセンスは 1 台のマシンでアクティベーションが認められます。お客様は、UR に同時にアクセスするユーザー数分の UR ライセンスを取得する必要があります。
UiPath APP	Named User	1 つの APP ライセンスは、同時にお客様が指定した 1 ユーザーのみに割り当てられます。お客様は APP にアクセスする 1 ユーザーごとに 1 つの APP ライセンスを取得する必要があります。
UiPath CEH	Named User	1 つの CEH ライセンスは、同時にお客様が指定した 1 ユーザーのみに割り当てられます。お客様は CEH にアクセスする 1 ユーザーごとに 1 つの CEH ライセンスを取得する必要があります。
UiPath EEX	Named User	1 つの EEX ライセンスは、同時にお客様が指定した 1 ユーザーのみに割り当てられます。お客様は EEX にアクセスする 1 ユーザーごとに 1 つの EEX ライセンスを取得する必要があります。

<p>特記事項</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.OC と共に ST、AR、UR、NR 及び APP を使用する場合、OC によりライセンスが集中管理されま す。 2.デバッグ目的に限り、UR 又は NR を使用して ST をアクティベーションできます。UR 又は NR を使 用して ST をアクティベーションした場合、マシンにおいて自動化ワークフローを作成若しくは編集す るために当該 ST を使用する場合には、別途 ST ライセンスの購入が必要になります。 3.ST は AR ライセンスを使用してアクティベーションすることはできません。 4.UR は、AR のライセンス仕様に従い AR として使用することができます。 5.AR を UR として使用することはできません。 6.ST 及び AR は OC と別に使用することも、OC と共に使用することもできます。OC と共に使用しな い ST 及び AR はスタンドアロンライセンスでアクティベーションされます。 7.スタンドアロンライセンスによってアクティベーションされた ST 又は AR を、OC を通じてアクティ ベーションした場合、with OC のライセンスモデルが適用されます。 8.本番環境において、ST、開発用ライセンス、又は、非本番環境ライセンスを使用して自動化ワークフ ローを実行することはできません（上記第 2 項で認められているデバッグモードでの実行を除きま す）。 9.人による監視なしに AR ライセンスで自動化ワークフローを実行することはできません。 10.本書において明示的に許可される目的以外で、非本番環境ライセンスを使用することはできませ ん。 11.ディザスター・リカバリー環境の作成は可能ですが、災害等復旧支援以外の目的で使用すること はできません。OC と共に使用しない ST 及び AR については、ディザスター・リカバリー環境は作成さ れません。
<p>補足</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.UR without OC ライセンスモデルは、UiPath のサポートは提供されません。ただし、特記事項第 4 項に基づき UR を AR として使用する場合は、UiPath のサポートが提供されます。 2.OC Basic は、OC Standard と同じ製品機能性を備えていますが、本番環境の単一テナントに Robot (AR 又は UR) 及び ST それぞれの接続上限数が 5 での使用に限定されています。

上記の特記事項に加え、本製品を使用する場合には、お客様は UiPath 利用ポリシー ([こちらのリンク](#)又は後継のウェブサイト
をご参照ください) に従うものとします。